





每月佳來返事

此度御撰系之類者當春之京  
 之砌垣收的板鼓有垣承作更  
 尚又龜結系末委細今承知在  
 先且文之之撰板其面必作得  
 其文車去滑色羽錦者唐間作  
 者矣垣本致催京伊勢作也



湯江御所



申文月注末名者何系世身也  
男類頭等惟世然刻附身之  
便而加系有業之之友豈可被  
乘三身仙之性來作其外解真  
之甚者筆談唐故發作百四午  
德善夏而黃鸝主人之社象後  
被任世郎之物救寄作生及世

卜之沙法間爰信且又者句之  
事去諸國亦殊為置獅子庵之  
文庫在得者被為經朝寐之白  
狂入用以策勅色可被成作万  
強也丁申運作可視

九月下院

獅子史記

百卷主人

老報

尚く前啓之沖書物錦一尾 錦一杯 山家  
 之瑞物貴殿名種作今年也入有卦也  
 坂加賀之藤守被贈生干之錦は錦  
 之錦河黄七日坊之徳后之印錦也  
 錦子之也毎云思作云不有及法也之  
 産似記符之重訳之折也 社慰者情也  
 陋之有杯讀手紙之君子中作一矢



赤月往來 越前 美濃

赤月也厂ハ以呂波もまゝも所 尚枝

百華臺

まう〜ぬ星もわて遊不之 柳鼓

後初とりの指〜 芳いれて 攻的

ふも川との餅〜 市柱

か〜か〜と成をとつて母をふ 杞音

や〜〜ゆ〜乳母の襟はさ 柯白

<sup>ウ</sup> せね子の言ハ一寸一寸の氣 <sup>獅子門</sup> 白狂

富の柳はふちまわく <sup>右范</sup>

ふ吹ハまゝに笑ねと新脩 <sup>野航</sup>

年々蓋する母の挨拶 <sup>六之</sup>

指合ハかまりぬ村のみと夕 <sup>栗丸</sup>

痕守素の言ハゆゆ <sup>東羽</sup>

夜ハく笑ねハ半ハ了 <sup>百老連中</sup> 鼓

揚屋わして西の飯屋 <sup>枝</sup>

精進と阿まは飽ハ片皆ハ <sup>狂</sup>

寐あり船ハ沖のま <sup>的</sup>

あの日にはて入日はむの雲 <sup>白</sup>

は眉の角とかくと綿帽子 <sup>喜</sup>

<sup>二</sup>正月と毛のそえ <sup>獅子連中</sup> 絶

魚あるは他く状 <sup>狂</sup>

きせらば小指をさす <sup>之</sup>

麦秋やれハ平ハ汎 <sup>航</sup>

此云交ハハくまのむら

野ハハ拾ハハハハ

山ハハ村ハハ屏凡ハハ川也

飯ハハまのそかハハ落人

云傳ハハ都の西ハハすハハハ

ハハハハハハハハハハハ

名月ハハ酒屋の之癖ハハ不ハハ得

萩ハハ萩ハハハハハハハハ

東

儿

枝

鼓

的

狂

音

白

百老連中

野ハハむハハありハハ狐の娘ハハ入

涙ハハスハハハハハハハハハ

糸ハハハハハハハハハハハハハ

國ハハハハハハハハハハハハハ

其ハハ酒屋ハハむハハ小祿ハハ賣

其ハハあハハハハハハハハハハハ

獅子連中

狂

範

航

之

儿

羽

葉月往来

洛陽越前 羨濃

風便に江より萩の葉月小

榊後園

吾仲

柳ハ喜良又ハ落し志すれ

山只

山雀の跡とおもひに籠抱て

范字

流り云ふを剛い物也

音由

廿年酒金ハもあて解き

素六

横板橋のらへしと云ふ

拍已

雲々々々々々々々々々々々

百花臺

花枝

ふめとじとく人掌持の腕

箕流

鐘撞て寺の鐘を寺の鐘を寺

市柱

海をてりうー照をてた

柝鼓

物介の軍とらむけ

把音

十人前より来る流り

降的

金屏の不便を海に

黄鷄園

里紅

凡の帝福のをとて

莖明

星の光と雲のちりくと

琴元

念佛の解て海に

比柝

ふとたふふの海に

海流

空の雲と雛子かた

凡荷

開帳の世をのいて日の光

柳在連中

只

一里と壺のちりくと

仲

ゆんくあらまの間に女中客

由

紋も片紙も急つと

字



名月の船ハ新地ニ漕捨テ

一人とすれと一人と喰ふと

新点も年家の代よりめつこく

舞又水子次小糖三合

天祥の奥に涙より花の声

廿九日の換子所こりり

逗楽の流と遊多らん町

いしと怒ると傘の礼

已

六

流

枝

鼓

柱

的

音

百卷連中

起りてん 立てて 朝露の平に

黄鷄連中

悟字の垢のぬけぬが袋

物よりな 旅業をすらし 表じこ

小城下あらし 毛の白登

山家一と 市の雛とよあけ

笠の比東の目ハめとり

明

紅

柵

丸

荷

仙

菊月佳春

伊勢 越前 美濃

麦林郷

菊月の花柳もかたし男小

乙由

栲樹一掃とあけり 叔父

曾北

秋ささるのみつゝにち柳也

兎士

御門のささぬ先よお眺

鳥史

とあやめらのさほと持あき

彭里

親によらん入んせり法云

桃如

一代ハエらぬの跡ぬち果は浪

百卷書至

嵐枝

音の物より教よら登

市柱

素まゝう冷りそ日永の里まら

柝鼓

鷹野の福上澄も清し

羽冠

活珍く日おと希みの拾ひ物

歸的

琵琶負ひあうとといひ

杞音

きよ長の存ハ伏見のむらり

何尾亭

童平

解よもけくそなむの巻を

梅田

やとひ人の遠くもあうり心や

台太

尾もむとらぬ伯母のそ侍

水胡

かまう原よどけハ流もむらり

槐二

猫とどれそんぬその飯次

江北

佛檀のかうり寺のまねとん

麦林連中

曾

くらりと花しつ三浦巴屋

由

出いくと膏とんそれハ青し

史

小すらのそこのしと換ひ

士

口切よ茶の千漉のかつり咲

困所大根まご細まゆ

百老連中

如里

多帯ハ流北り志了成川ま

いと子の歌のまい合意

仲人の名え柏の二れり

十の湯なよ十の雛取

聖来しあふつと月のおも

孫のよいまご取程と意

的音鼓冠枝柱

今格よ殺入の原と持けし

何尾連中

周

宵言と片もよえあけえお

平

標しりしお登のらりのお何

胡

権子の書よらしくかろ白

太

足曳の家ハ極よ石の坊

北

一ハ遊よまの性表

二

餘真 短哥行

旅窓下

卯のそまやちの白比の離る嶽 墨紅

回抱の伊達の笠よ夕久 片枝

敵様の粧ふに流とんそそし 柳鼓

お口の町の多ふとち野屋 歸的

定<sup>テ</sup>りきり<sup>テ</sup>並<sup>ニ</sup>木のこゝろにさるる月  
むらやまと河あけおほくお撲ね  
解ぬうしされと新酒の味さる  
るよつとくく市の深也  
正月もこころかめつてはさる  
孫よりくうい老の如く  
入おし<sup>テ</sup>津よむの思那も  
蓬よ杵のこころ指合ふ

的 鼓 枝 紅 鼓 的 紅 枝

むせも危くくもの突いね  
大工の斬まこく暗り  
漏桶と並こあはとりもさ  
庫裡の櫓の四月こい  
胸全に飛字し者るるたし  
ほのめ房よははとこ  
踊るやうと並よは猫よはねと  
右門の木の月の海さ

的 鼓 枝 紅 鼓 的 紅 枝

温純しあめりあんの小歌依

尾ハまこれ孫と山鳥の衣

柳子菴のむと橋本の飯を

いけしはくしと柳の柳

鼓 的 紅 枝

四季詠ス離カ嶽ヲ

春餅やふよふ柳のむか嶽

嵐枝

海鳥の巢よまのあしや離嶽

市狂

あまののや橋の紅葉よし嶽

杞音

福書やまに花らむむ嶽

歸的

ま柳よそはくむまのむ嶽

柳鼓

諸國往來

表濃

設阜連中

宿賃又沢田の鴨の所とあり

江北坊

綿と見ると落葉の所とあり

全

杉と見るとありと猫の意

五里平

各

甚

2742



鑄改のるはやくくとおとす

全

冬折の柳はらとつ柳ら

梅園

柔のむやもはふしあふゆじ

水胡

あまふはあふ川崎の神の海

台泉

花のぬりくくくろおはふか

想二

長良連中

夕白ふららとや合歌の夕まふ

泊帆

そかくら十二の角と度り

全

おちたおほはらうひやあま葉折

有澤

鴨はらを流すのをとく秋の雪

全

豆飯はるまに喰ふことこの飯

仲志

倭屋むはつさるるりそ都云

僧

湖舟

山縣連中

耳もくろくはる麻ふゆちを春小

右範

この月やと音は風よるのむを

全

洞もや寝も寝ふ 孫らん像

六之

一洗いよれハ柳ノ川ノ水ニ  
全

り秋のおはるに伊達の紙子ハ  
東羽

早よ乳房んせり冬ノ梅  
全

おまゝハ石橋茶屋やんハ神  
栗儿

居眠もはりとも凡ノゆりのむ  
白狂

その中ハむよあやあり雛ハ  
野航

北方連中

その中ものひて温紙ハ柳ハ  
墨

初秋やおはるりと秋ハ鶴の所  
全

焼くもと豆蔵もにうて萩ハ  
鷹山

常もまゝハおのゝぬ小まゝハ  
全

夕凡もまゝハ秋や波の極麻  
比押

柳もまゝハおはるれて紅茶ハ  
龍虎

いよハ秋やおまゝハ菊のむ  
葵明

事ぬくの使ハおまゝハかんハ  
凡有

竹五松連中

又をぬりのとけひ影よ燃く那  
 山寺の思のをくりや又衣  
 なる漬よ研みてや下戸の夕涼  
 東あそひの尻もすくぬる鶴か  
 市に鶴の晴よのまの一本ふり  
 新そしや 伊吹おろしの後か減  
 常むころる暮人ハ外一板せり

圓連中

連支 全 荷丁 全 楚輝 汎山 角呂

け秋のそりりや 鶴雲 泳三  
 おしをち 波のぬをゆふ 宿枕 伯獅  
 川狩や 夕日あふの ぬる鶴 李仁  
 おちのりりりい 晴る 海飯小 千将  
 眞のまをて 足せたり 殺桂 芦州

新加納連中

秋の日けいし 経一 湊の水 與条  
 大工より先一まきり ちねく 侃如

凡のらそよ 杉舟や髪巻ひ人 七柳

深田連中

うさぎもや 昭女、 露のききあり 水尺

白鷺よ 狂のや 凡の萩の月 全

ふたねよ きののや 露の松柳 細石

麻生連中

大木のゆきまらひりーたものじ 松守  
風ハ門とわくくそ通一たり 全  
魚とくそあぬ橋本ハ白一橋のむ 尋里

伊勢

山田連中

なまるとすこあつるぬまか し由  
いとまき次一敷くの月の欠 全

踏つけてぬはふは深ふ麻の凡  
 飯汁よきこのさしぬ日香  
 三味線よ歌をそじき歌歌  
 麻の戸らうし里しをきと  
 秋と冬一歌よりし火燈小  
 名月の平にまきよいあうり分  
 ふ平よ危おとろくや秋の凡  
 好の世法園ハのこれよ新たき

免士 全  
 全  
 桃如 全  
 全  
 魯北 全  
 彭聖  
 赤棠  
 秋

兼名連中

入おのなとやふよ田探り  
 平よきあやふは危の紙よ小  
 い海くに世とさしるや紙織  
 朝飛の囀を足てらりあきり小  
 雄のきよん気きよ所もさふ  
 朝おあやよられぬえよ神連

午馬  
 全  
 盛山  
 全  
 何有  
 仙行

果のり日と癒し移るや川柳  
 伊達ハ子ハ藤よそとや文家  
 尚も風流や管のむは凡  
 くれみ舟とむよとらして西風

龍角  
 杉夫  
 玉之  
 全

尾張

名古屋連中

名月や部の夜のむらり  
 巴

株ハまゝの書ハぬらぐみまゝハ  
 葉ハよせぬ女よとらうみ子細  
 粧との布袋ハ淋しとハと海  
 七草よそとぬあらひや梅の心  
 きれくのさるんおのていさか  
 ふらふら清土ハ物ぢりハ故を分  
 うさ菊の香よ焼みその清り  
 猿拂や顔よ似合ぬ 糸初  
 一板

三枝  
 巴  
 全  
 露角  
 全  
 全  
 全  
 全

猪と先は子いへ宿のせ年小  
以之

三河

赤坂連中

神崎の乳も志用りぬきく  
里し  
ゆらりハ鈴の音は六神道  
菰里  
玉祿の山は日ハあり之はと海  
南毫

近江

膳取連中

手車よせあり奥方さむと十歌  
酒堂  
肴はしきささく青の佐分  
昌房

大津連中

むらきしおのそとぬ部  
宰院  
水海やと青の月結あはけ  
全  
香に安んずるもささくさ  
田入

辻村連中

紅とくく鏡の水や 文衣

花角

身子尾の片やうらさるる西尾小

全

珠の葉の住糸とか分茶小

冠那

洛陽

柙後連中

水やせら一糸流ひささの月

吾仲

ふ他はよねの月夜とくしん

全

掛音よ凡の羞やなとくま

范子

秋しんや葉山よと安楽の流る水

全

虚片ぬ鼻やとくしん梅のむ

山

煤掃のか勢や作世の深なる

全

金りおよまうとくあまる源小

素六

洗階の水とこりむ大振川

全

柴芥のあくとねらやまの歌

五畠



これしかるはたの二と

拍已

但馬

山口連中

宿かりて若くはむえ風子

牛伴

秋夜しんよ花やゆきつ

全

芍薬よ暗く若のくんか

随有

五月あめり葉やあふさうけ

伝敷

石見

太田連中

曲祿よ唐人さうへー枇杷のむ

美三

山寺のふれはねーおまの娘

祝

出好

鷲園連中

考へてぬきまのめ威や七月園 嵐七  
 萩のむちやあつてふれは萩のむ 全  
 羊よりやむの中り後の戸 凡草  
 海しこのうくあふさ 飄子 全  
 け秋とるよ 鶉氏の懐子 李夏  
 管舟とむじやうん茶の権 吳天

越後

新浮連中

敷金いすゝ 船屋もあそび茶 松洲  
 凡呂よ水はつゝ念のうさこ 全  
 くらうりやゆりの糸を梅のむ 世柱  
 糸糸よも若の宵戸のうさこ 全  
 じゆしゝまは校もすゝ遠のむ 僧 一守

常もや癒しあふは 虎の心 慈舟  
秋の山や遊女の因患よあはれ 七里

出雲寄連中

百月うらやみしるは 栢の心 北溟  
花舟の舟あやうし 水は心 鷺貫  
仲今利も花とハヤシ 高田 卷耳  
空酒しつらうらうら 全

戸らうらうら 今町 貞花

糸魚川連中

洞心目ハツまんま 九蚌  
換神の衣もや郊の冬月 全  
色し香しぬらうら 坡什

越中

泊連中

あそびて世界の壺やまの岸

松守

柳のまやや里よはるる破の松

全

ちり河し伊達ハとれぬ極小

行丁

魚津連中

夕影のむやまハ好の伊達

倚處

吹原よ凡のうらみやま念仏

全

宵はよあしあそびてはるる

雨村

子候の梅のまよや神一途

全

セ夕のあぬふまや一巻紙

巴周

鴨のまや秋の思ふ水の良

全

娘のむらりかききぬ

季布

生地連中

秋川よ月もらゆるや鮎の病

枝中

け秋や野よまかすくあれ約

全

佛法のこころぬ離の世界うか  
父の母母の形を法を回す邦  
全 扇之

富山連中

河うえうおのいあぬ柳を  
作乞と八月むの日法行結  
船航のほろや茶抄のまけ蔵  
あさうりや市のやうのまぬえ  
鐘うらとるりりり教生舎  
二川 全 一庸 白推 蘭醉

高岡連中

兼佛の程のらうやあふ子ハ  
お月るその人ハきのよの紙子ハ  
そしきされて是と於る火燈ハ  
虎舟 丹岫 互趙

氷見連中

猶書やひやうと接ぐ橋の上  
うぬ人とるおとやし法をハ  
杜亮 海人

賢人の野よかられてや 拙のむ 野刀  
虫の音にうりとうけたる 麻の戸 巴流  
解揚や 二味線りよむん 路青

石動連中

半日の暮とくくともや 百日紅 方堂  
影しりりもきて 茶室の本控ハ 全  
柳の青や 雪林院の星月夜 兼従

於膳のそりしきを 心を 眉

福光連中

馬玉よ 痛くぬれの柳の家 九言  
管入の柳くねい十取の形 全  
ふゆのきくしりてや 西比島 巴龍  
く 柴のきくしりてや 西比島 全  
るしりく 芦も 柳もや 文家 七言

井波連中

い糸ハねよこそあき 蟬の声

桃化

弱みや 空のあふるを 秋の風

蘇紅

若のねや 夕日よとらんとて 雲の家

萩人

佐生の夕部 しらくく 夕のり

巴群

能登

七尾連中

柳子うらもむきよのねみ 牡丹川

司経

麻のきや 下月の 藤之 挽のき

全

真のよを やくし 藤の ぼの月

長羽

梅、香の 藤よ 鳥や 朝のき

玄嘯

寂の ぼくきん 流るや 水のき

有己

掃くは 一糸の あとの 二たふら

糸莉

加賀

金沢連中

け射る色の志はよ

梅の香

蘓守

梅の香をあはくと梅は山

山際

臨の糸信をよんで柳の

素志

むのなほ花毎にあり

八家

と日月のまはり

希因

千金のたや二りのまの月

凡曲

物影よまはるぬれと新

全

やち門をくるとん先証あり

松任 侶嵩

流凡や梅よまはる藤入

松任 桑安

縮書の裾とめるとや水の

全

本吉連中

梅の香をかりてけしや

半眩

と軒の角の生るる小藤

若推

小松連中

川喜の紫山は涼いおはる月

し甫



峯の香尻のそらくまのりふ 朴人

大正寺連中

若の空やそらくまのりふ 馬泉

返るわい神もさうめとまひす海 全

仲ふもさうめとまひす海 全

そらくまのりふとまひす海 全

糸節遠よ虹一糸節の枯野ハ 梅石

松凡よ糸節とまひす海 里揚

かゝりの糸より秋のまゝハ 桃吹

越前

三國連中

朝歌の浅茨むとやぬまハ 昨裏

鷹の月も鼻くくや斥鷃 全

美鉢やよとまひす海 播東

新保連中

名月と詠ゆとや 朝鳥 七實

三日月と折也むまの春はな

香和

金津連中

東也のらなれて花や 都と

江西

の宵の独えつゝの致をり耶

琴詩

福井連中

葉のむや都はまのあきき切

草吹

やげらうとむまよとあふく園は

全

つるもは所まうれてる中しぬまは

玄駁

春舟とらうりくともうの糸

六和

早梅やあふく字の所く足のは

嵐

多福と絆のふさる家よか

山流

縁也とあふんあてやゆら

虚白

目の前よあふんあてやゆら

岩芝

初書や梅のあふんあてやゆら

園指

水女のあふんあてやゆら

洞安

さあきと日にりともあふん

杉更

むまぬねはひらきり月えか

伯免

敦賀連中

仕事うり 能よ大工結りさか

東怒

灯ハス〜〜〜たあさあや秋の香

全

振り能よの〜〜や夏の集

東吾

燈〜のり〜ぬきや村〜

紀百

雪り水の塔と小指や〜〜

東宇

うき落つや 輪子の露もよ〜

起母

小ほとかぬり〜〜本様小

雨橋

今更〜〜ぬ火燈小

二萩

洗原より〜〜牡丹うき

里杏

府中連中

苗代よ 緋舞と月〜〜の東山小

嵐枝

百合の名や十帝旅〜〜のあと

全

弓張の節やもはらの〜〜

全

か〜鐘や〜〜に板まよむの味

全

きたりしきや事多しぬわむは蝶  
 心子秋の雪ふはあまの麻子小  
 ぬれふよハ痛しと似蝶もむせ小  
 凡結ぬ目も手物よは落紫小  
 正月とからか字ハ一重梅  
 来年ハ嫁入らゆ一桐のむ  
 白中よ入字と名をと秋の秋  
 携えりあまの物して括せ小

全 全 全 桺鼓 全 全 全 歸曲

雲のきんきと秋も 本花小  
 見物の流は流す 務舟小  
 お房ハむ節の中ハ總蓼小  
 掃らえハ掃又大能う小  
 風の縷とくけり 柳の柳  
 新衣ハ流しとらふ 吹雪小  
 削れし 女流とあり 吹雪小  
 反腕の古凡も志す 吹雪小

桺自 遠近 市権 杞音 箕流 羽冠 梅橋 榮木

江戸

坂巻枝

漢朝の蘇武ハ雪并此層ハ  
書をばす之家朝の畑亦即ハ  
和乃存惟之世を去ハ是之如  
人ノ念一ノ候ハ不自由若  
何法ありん平ハ獅子門ノ  
控ヒ事存之也之文面ナリ

事一松を以て丹雘を以てし  
下三松を以て丹雘を以てし  
之を以て京兆府と爲りし  
寺方八門にありしあり核  
柳一笠を以てし柳子菴乃  
三度死節と程名を以てし  
付後ハ自若次舟より三越路の

門人寺より百部書と云ふ  
宿ありて蒲園と木由りの  
院とありて世に多し生其を  
名ハ松と云ふ

享保丙午十月



京寺町一条下

梅屋治兵衛行

由希唐新島

114  
此  
角

